

サウンドマップ (ネイチャーゲーム)

| | | | |
|-----|--|----|------|
| 場所 | 自然の家内及び周辺（屋外ならどこでも） | | |
| 時間 | 30～45分程度 | | |
| 値段 | 無料 | | |
| 季節 | 年間 | 人数 | 何人でも |
| 準備物 | 【利用者】活動に適した服装、下敷き、救急用品 音の地図シート、筆記用具 【自然の家】特になし | | |

プログラムの概要・ねらい

ある場所で一定時間、声を発しないで耳を澄まし、白い紙に自然の音を絵や図形で表現する。自分を中心とした紙に音の聞こえた方向性や、どんな音だったのかを表現し、自然を「聴覚」という切り口から感じる。

①準備

事前に音の地図シートを必要数枚ページより印刷しておく。
 ※自然の家で印刷を希望する場合は、料金が発生する。
 事前にグループに合わせたプログラム展開を検討し、活動場所の自然環境や危険箇所を確認する。
 活動開始前に安全面についての指導を行う。

②実施の流れ

【所要時間】

～5分

プログラムの説明

活動のルール、探す範囲、集合方法を確認してから実施する。
 最初に自然の音がたくさん聞こえてきそうな場所を選んで座る。
 紙と筆記具を用意する。

15～25分

全員で目を閉じて周囲の音に耳を澄まし、1分間にいくつの音が聞こえたか音の種類を教える。（ネイチャーゲーム：音いくつ）

10分程度

指導者は見本として用紙の中央に自分の位置を×印で記し、実際に聞こえてくる音を指導者の感性で描きながら説明する。
 ※自分なりのマークやデザインで音を表現することがポイント

描き方が理解できたら、それぞれ好きな場所で静かに座り、自分の周囲の「サウンドマップ」を描く。

20分程度で集合の合図を出し、各自のマップを見せ合いながら、感想等を話し合い、分かち合う。

※ 数を競うゲームではないので、本来の目的が損なわれないよう説明する。

※ 発表や確認を終えたら、感想を聞いてみるのもよい。

応用

ハイキングの一部で実施するなど、他のプログラムと組み合わせることもできる。

詳細は…日本シェアリングネイチャー協会HP <http://www.naturegame.or.jp/>

→五感で楽しむ自然ふれあいプログラム

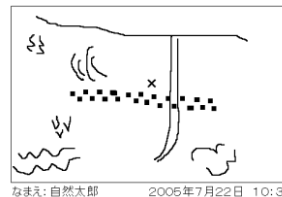
<http://www.naturegame.or.jp/know/digital/>

※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場内には入れません。また、プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



○△小学校 サウンドマップ



なまえ：自然太郎 2006年7月22日 10:35

③後片付け

特になし

おと ち ず 音の地図

年 月 日 場所:

^{みみ} ^あ ^き ^{おと} ^え ^か
耳を澄まして聞こえてきた音を絵に描いて、音の地図を作ろう。

